様式第1号（第8条関係）

中小企業DX等人材育成支援事業補助金交付申請書

令和7年×月○日

（宛先）静岡市長

住所 静岡市清水区旭町6-8

申請者 氏名 株式会社しみず旭
代表取締役 産業 次郎

連絡担当者 商業 一郎

電話番号 054-354-2058

補助金の交付を受けたいので、静岡市中小企業DX等人材育成支援事業補助金交付要綱第8条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

1 交付申請額

190,000円

様式第4号で算出した補助金額と一致

2 添付書類

- (1) 申請者概要調書（様式第2号）
- (2) 事業計画書（様式第3号）
- (3) 収支予算書（様式第4号）
- (4) 登記事項証明書（申請者が法人の場合に限る。）
- (5) 構成員名簿（申請者が団体の場合に限る。）

様式第2号（第8条関係）

申請者概要調書

1	申請者の名称	株式会社しみず旭	
2	代表者	産業 次郎	
3	申請者の沿革	平成■年4月 設立
平成□年10月 現代表者 就任
令和○年4月 新工場 設立	
4	資本金（資金）	10,000千円	
5	従業員数	15人	
6	業 種	プラスチック製品製造業	
	主要製品等	自動車用プラスチック成型品	
	主要取引先	Z Z Y Y 産業	
7	本社所在地	静岡県清水区旭町6-8
電話番号 054-354-2058	
8	事務所所在地	静岡県葵区追手町
電話番号 054-354-2132	

事業計画書

1 自社の課題

顧客満足度向上とサービス高度化を実現する、次世代型保守技術者が不在

2 事業実施の目的

当社は産業用機械メーカーとして、稼働状況の遠隔監視などを可能にするネットワーク対応型（※インターネット等に接続しデータをやり取りできるタイプ）の新機種を市場投入しました。しかし、その導入・運用フェーズにおいて、以下の課題が顕在化しています。

- ・ 対応スキルの不足

新機種の設置、初期設定、基本的な保守対応を行える現場技術者が限定的であり、これが導入のボトルネックとなっています。結果として、顧客への納入遅延や、迅速なサポート提供が困難となり、顧客満足度の低下を招く懸念があります。

- ・ 保守業務プロセスの非効率性

保守点検や作業報告が依然として紙ベース主体であるため、報告書作成に時間を要し、情報のリアルタイム共有が実現できていません。これにより、管理者の状況把握が遅れ、データに基づいたサービス改善への取り組みも停滞しています。

- ・ 付加価値サービス提供の遅延

新機種から得られるデータを活用した高度な保守サービス（例：故障予兆の通知）の展開を計画していますが、現場での正確なデータ入力体制の不備と、対応できる技術者の不足により、具体的なサービス開始に至っておらず、競争優位性の確保が急務となっています。

3 事業内容

（1）具体的内容

保守サービス部門の技術者を対象に、新機種への対応能力とデジタルツールの活用スキルを向上させる研修を実施し、以下の達成を目指します。

- ・ 顧客満足度の向上

全ての保守技術者が新機種の基本的な設置・設定・保守対応スキルを習得し、迅速かつ高品質なサービスを提供することで、顧客からの信頼を高めます。

- ・ 保守業務の効率化

保守点検報告プロセスをデジタル化（タブレット端末活用）し、報告業務の所要時間を大幅に削減するとともに、リアルタイムな情報共有基盤を確立します。

- ・ サービス高度化に向けた基盤整備

現場からの正確なデータが効率的に収集・蓄積される体制を整え、将来的なデータ分析に基づく付加価値サービス（予防保全等）の提供に向けた基盤を構築します。

- ・ 組織的なデジタル活用能力の向上

現場技術者がデジタルツールを効果的に活用する成功体験を通じて、組織全体のデジタル技術活用に対する意識改革を促進します。

上記目的を達成するため、以下の2つの研修受講を実施します。

- ・ 研修1：新機種対応フィールド技術者 基礎スキルアップ研修

本研修では、顧客先での保守サービスを最前線で担う技術者（製造部 保守サービス課 所属のA、B、C、D、Eの計5名）を対象に、新機種（ネットワーク対応型機械）に関する知識とスキルを集中的に習得させます。内容は、機種の構造理解、設置・配線・ネットワーク初期設定の手順、専用ツールを用いた基本的な操作方法、代表的なエラーとその対処法などを含みます。研修は、専門的な設備とノウハウを持つ外部機関「〇〇センター」にて、令和7年7月から8月の間に2日間の日程で実施します。実機を用いた演習を通じて、単独で初期対応を完遂できる実践力の養成を図ります。

- ・ 研修2：タブレット端末を活用した保守報告システム操作研修

次に、上記研修1の参加者と同じ技術者5名を対象に、新たに導入する保守報告システム（タブレット端末上で動作）の操作方法に関する研修を実施します。点検項目の入力、作業状況を示す写真の添付、作業時間の記録、報告書の自動作成と提出といった一連の操作を習熟させ、報告業務の完全なペーパーレス化と効率化を目指します。研修は、令和7年9月に社内にて、半日のプログラムを2グループに分けて実施予定です。講師は、業務のデジタル化支援に実績のある外部専門家（**■◆DXサポート**）に依頼します。

(2) 事業実施スケジュール

期間 (いつ)	実施項目 (何をするのか)
令和6年7～8月	〇〇センターでの研修の受講
令和7年9月	社内研修の実施

4 事業実施により目標とする事業成果

・ 定量的効果

新機種の設置・設定に関する平均作業時間：15%短縮

保守点検報告に係る業務時間：1人あたり日次平均30分削減

顧客からの問い合わせに対する一次解決率（電話等）：10%向上

技術者による初期トラブル対応完結率：15%向上

・ 定性的効果：

保守技術者のスキル標準化と対応能力への自信向上。

報告業務負担軽減による、顧客対応等のコア業務への注力促進。

リアルタイム情報共有による、迅速な意思決定と部門間連携の強化。

データ品質向上と蓄積による、将来的なサービス開発基盤の強化。

現場主導のデジタル活用成功事例による、全社的な変革推進意欲の向上。

様式第4号（第8条、第11条、第13条関係）

収支予算書

1 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘要
市補助金	190,000		
自己負担額	228,000		
合 計	418,000		

2 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘要
対 象 経 費	研修受講料	330,000	
	教材費	50,000	
	小 計	380,000	
	対 象 外 経 費	消費税	38,000
小 計		3,800	
合 計	418,000		

様式第5号（第8条関係）

誓約書

令和7年×月○日

（宛先）静岡市長

住所 静岡市清水区旭町6-8

申請者

氏名 株式会社しみず旭
代表取締役 産業 次郎

電話番号 054-354-2058

静岡市中小企業DX等人材育成支援事業補助金（以下「補助金」という。）の交付を申請するにあたり、次の内容について、誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

チェック	
☒	全ての交付対象要件を満たしています。 また、全ての申請内容は事実と相違ありません。
☒	下記のいずれにも該当せず、みなし大企業ではありません。 （1）発行済株式の総数又は出資価格の総額の2分の1以上を同一の大企業（中小企業基本法第2条に規定する中小企業者以外の事業者をいう。以下同じ。）が所有している者 （2）発行済株式の総数又は出資価格の総額の3分の2以上を複数の大企業が所有している者 （3）大企業の役員又は職員を兼ねている者が、役員総数の2分の1以上を占める者
☒	静岡市税に滞納はありません。
☒	虚偽が判明した場合は、静岡市補助金等交付規則第16条の規定により補助金を返還します。

※全ての項目にを記入してください。チェック欄の全ての項目に記入がない場合は、補助金の交付を申請することはできません。